

釧路南ロータリークラブ会報

第33回 例会報告 2014.3.7 通算1528回

・点 鐘 佐藤玄史会長

・ロタリーソング
「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 工藤 ゆかり会員

・入会記念祝
長井 一広会員 H20. 3. 7 (6年目)

・結婚祝
前田 裕治会員 H3. 3. 10 (23年目)

・会長挨拶



こんにちは、先日のIMの参加有難うございました。特に南クラブの長倉会員大変ご苦労様でした。ひな祭り、IMを終えると、大きな行事が終え、下期の次年度に向けた地区協議会が4月末に開催予定です。帯広での奥周盛ガバナーでの次年度体制にはいりません。当然菅井、上川原さんへのバトンタッチへ、引き継ぎたいと思います。先日の臨時理事会で報告しました通り多少の組織、変化がありますが基本的には内容は変わりません。次期幹事の上川原さんからおって報告があると思います。ぜひ会員の協力をお願いしまして会長挨拶とします。

・幹事報告



- * 釧路東・西・北・ベイ・弟子屈各ロータリークラブより、3月の例会プログラム案内と弟子屈・厚岸ロータリークラブより例会会報を拝受しております。
- * 先に幹事報告をしていました、2014年国際ロータリー年次シドニー大会の参加募集案内が再度届いています、この度は後残り4名で定員のFコース(美しい街メルボルンを訪ねる旅8日間)です。以上、回覧板に載せております、ご覧下さい。
- * 前回の幹事報告でお知らせしました、2013年度版手続要覧(ロータリアンの手引き)が届きました、

ロータリーの友・ガバナー月信と共にレターケースに入れてあります、手続要覧は最新国際ロータリー情報が記載の為次年度、当クラブ活動計画書作成に当たり一度目を通しておいください。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

長井 一広会員 入会記念祝として

前田 裕治会員 結婚祝として

・本日のプログラム

「IMを終えて」

担当 会長・幹事

◆佐藤玄史会長



7 分区分 IM が 3 月 1 日 (土) に開催されました。うちのクラブから 12 名の参加でした。IM 開催は、それぞれ一部から三部構成で予定され、最初はそれぞれ北川ガバナー補佐を中心にホストの北クラブ中嶋 IM 実行委員長の挨拶、北クラブ小野寺会長、葎本ガバナーの開会セレモニーに始まり、「元気な分区分について」のメインプログラムの「ガバナー」補佐の報告でそれぞれ各クラブのディスカッション方式で討論、7 分区分の歴史経過を質疑がなされ当南クラブから、長倉会員が質疑に参加され南クラブ現状とあわせて、クラブの今後について報告がありま

した。メインプログラムで各クラブでのディスカッションでこれからの 7 分区分のロータリー活動の取り組み、会員増強、奉仕活動、ロータリーの地域に果たす役割についての議論が話されたと思います。次に、ゲスト講話に国際ロータリー直前会長の田中作次氏の講演「元気なロータリアンを目指して」の講演があり各国にロータリー事情をつぶさに報告がなされ、世界中のロータリアンとの出会いの報告がなされ、国際ロータリー会長の役割の大変さと、あらためて国際ロータリー、会長の仕事、世界のステージでロータリーを代表して活動する。ロータリーの活動を広める。参考に今年の会長の、数字から見る会長の旅、飛行距離=25 万マイル、訪問国=51 カ国、公演回数=190 回、これは会長の任期中の概数です。費用は、平均 65 万 2800 ドルだそうです。閉会セレモニー、続いて「友愛の広場」で交流が図られ解散いたしました。幹事のほうから同じ内容が報告されますがよろしく願いいたします。

◆佐藤了幹事



続きまして、本日のプログラム「インターシティー・ミーティングを終えて」の幹事発表をさせていただきます。先に発表致しました会長の話と重複する所が多々あると思いますが、ご容赦願います。

2014年3月1日(土) IM開催に先立ちまして、当日午前11時20分より栄町3丁目ユニオンセンター2階「ブラッセリーナ 中なか」というレストラン風居酒屋で、本日メインプログラム第2部

で講演される、田中作次国際ロータリー直前会長ご夫妻並びに第1部のディスカッションで感想を述べられる、国際ロータリー第2510地区パストガバナー熊澤隆樹（たかき）氏をお迎えし、国際ロータリー第2500地区第7分区北川 健二ガバナー補佐初め、田村・迫田両ガバナー補佐幹事、第7分区の全会長・幹事が出席し、臨時 会長・幹事会が昼食を取りながら開催されました。

臨時 会長・幹事会の中では、田中R I直前会長並びにR I第2510地区熊澤パストガバナー両氏のご挨拶・懇談会・名刺交換・写真撮影などが行われました。

田中R I直前会長ご夫妻は当日、現在お住まいの埼玉県から空路釧路入りするという事でIM関係者の皆様は、天候なども含め無事お迎え出来るまで非常に心配されたそうです。

釧路入り後は国の天然記念鳥、鶴居の丹頂サンクチュアリと阿寒の鶴公園を見学し、すごい数の丹頂鶴を間近で見られた事と偶然野生の北キツネと出あった事に大変感激しておりました。

午後1時30分から釧路プリンスホテル2階に於いて、開会セレモニーが始まり北川ガバナー補佐による点鐘・国家斉唱並びにロータリーソング「奉仕の理想」、ホストクラブ小野寺英夫釧路北ロータリークラブ会長挨拶、ご来賓の方のご紹介、葭本正美国際ロータリー第2500地区ガバナー挨拶・ご来賓挨拶と続きセレモニーが終了しました。

午後2時からメインプログラム第1部のディスカッション、第2部の田中作次R I直前会長の講演とプログラムが進んで行きました。

第1部のディスカッションは「歴史から先人の情熱を学ぼう ロータリークラブの未来に向けて」をテーマに、冒頭「釧路ロータリークラブの設立から札幌RC・釧路RCの誕生そして2500地区第7分区8クラブの誕生の歴史を振り返り、その中で先

人の声を聴き現在でも必要な心構え、実践すべき事柄を学ぶ。」と始まりIM主催者側が、東京クラブの誕生について、1917年（大正7年）政府財政経済委員会の委員として米国に來た米山梅吉氏は、休暇を利用してダラスにある三井物産の支店を訪れた際、ダラスRCの会員であった東洋綿花（株）社長福島喜三次氏と出会った。福島氏は米山氏をダラスRCにゲストとして招待、ここで米山梅吉は、福島喜三次からロータリーについて聞き、大いに心を動かされて帰ってきた。福島喜三次は日本初のロータリアンであった。と東京クラブの誕生から全国の大都市に次々ロータリークラブが誕生して行った経緯や、戦時中米国から入って來たロータリークラブに対し当時の軍部や右翼団体から圧力が入り、例会時の国旗掲揚・国家斉唱を受け入れた歴史がある事や北海道内のRC誕生、北海道第2500地区・第2510地区の分割また各分区の誕生や第7分区の歴史、その後次々発足してきた各クラブの歴史や経緯、発足にあたりご尽力されてきた先人の情熱などの経過を約1世紀前に遡った歴史から発表・説明しながら都度、各クラブに質問をし各クラブの代表者が答える形式でディスカッションは進められて行きました。

ここでお詫びがございませう。この度の第1部ディスカッションにあたり、去る2月17日（月）質問依頼会議が午後6時30分より釧路プリンスホテルで開催されました。会長・幹事で出席し会議の中、IM第1部のディスカッション質疑応答に関して私自身2度ほど質問はしたのですが私の理解不足により、IM当日質疑の応答を依頼しました長倉会員に、内容を誤り十分真意を伝えられないまま質疑に答える事と成ってしまい、長倉会員及びに釧路南ロータリークラブに対し多大なご迷惑をお掛けしました事を、この場をお借りしましてお詫び申し上げます。

発表を続けさせていただきます。 昨年の3月16日（土）釧路キャッスルホテルに於いて、当南クラブ

ホストでIMが開催されました。 昨年のリーフレットを見ますとテーマは「会員増強に繋がる行動を起こそう」でした、開催時の長江 勉ガバナー補佐挨拶文の中に、「SAKUJI 大作戦」と本日講演頂きます、当時国際ロータリー会長で現RI直前会長田中作次氏の方針に沿った文章がありました。

続きまして第2部、田中作次RI直前会長による「元気なロータリアンを目指して」をテーマに講演が始まりました。 初めに、「ご縁があり、今日の第2500地区第7分区インターシティー・ミーティングに参加し、皆様にお会い出来る事が決まっていたのでしょう」と意味深いお話で始まり、国際ロータリー会長経験によりアメリカは勿論、ケニア・イスラエルなど世界五大陸の各国を訪問し飢餓・病気・教育など直面する問題の多さを感じると共に、どこの国へ行ってもロータリーのピンバッチの有難さ、一人では成し得ない事も世界中のロータリアンの力が集まれば達成出来る事をも実感出来たとの事でした。 また積極的な奉仕の心が、究極的な世界平和に繋がるとお話ししておりました。

内容は前後しますが、お話の中、各ロータリアンは何時でも出会った人に自信を持って入会を勧められるように、日頃からヒアリングの訓練を実践するのも必要との事でした。

クラブに新入会員が増えますと、新しい会員から学ぶ事も増え又、「共に時代のニーズに合わせ各所属クラブも変化して行き未来を見つめた幅の広い活動が出来るように成って行くと思います。」とも話しておられました。 最後に、強い財団を作る事があためて1人では出来ない事もロータリアンという多くの会員でなら高い目標も成し遂げられますと、会員増強・奉仕の心が常に大事とのことで講演が終了しました。

続きまして、閉会セレモニーに移り葎本RI第2500地区ガバナー・次期第7分区ガバナー補佐釧路東RC山辺文彰氏・次年度IM開催ホストクラブ山田敏昭釧路東RC会長各皆様の挨拶後、午後5

時20分北川第7分区ガバナー補佐の点鐘でプログラム・講演と終了しました。

午後5時30分から当ホテル3階に会場を移し「友愛の広場」が開催されました。

中嶋IM実行委員長挨拶・櫻田RI第2500地区パストガバナーご挨拶・奥 周盛RI第2500地区ガバナーエレクト乾杯により会食・懇談会に入りました。

当日は、館岡屏風山家元率いる「津軽スコップ三味線」という、流される音楽に合わせスコップを叩いて音を出し、左手はいかにも弦を弾いている様に見える余興が始まり、家元率いる出演者のライブショーの後、楽器は弾けなくても出来るスコップ三味線に挑戦と、ステージには北RC坂入IM友愛の広場担当を中心に田中作次氏・小船井修一氏、櫻田正弘氏や7分区の会長などが上がり演奏、その後そのまま曲に合わせスコップを持ち会場を練り歩き出しました、田中氏・櫻田氏・小船井氏など全員が楽しんで参加し、会場を練り歩く姿を見まして私は共感を覚えました。

最後に、東堂 明RI2500地区ガバナーノミニ中締め乾杯、会場の皆で手を握り、ロータリーソング「手に手つないで」を合唱、村井順一IM副実行委員長の閉会のことばで今年度のIMが終了しました。



・次回のプログラム

3月14日(金)

「ゴミ・環境問題を考える」

会場 釧路東急イン 12:30～

担当：環境新世代委員会

・点 鐘 佐藤玄史会長

今週の会報担当：上川原昭会員